

神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会委員
R2年度 自主事業モニタリング 実績

I 本館

参加者数計(延べ)32名

大ホール主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
トワーランドット	10月 18日 日	○	5
東京バレエ団「M」	11月 21日 土	○	3

小ホール主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
Toshi伝説	2月 13日 土	○	3

ギャラリー

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
なし			

II 神奈川芸術劇場

ホール主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
視覚言語がつくる演劇の言葉(オンライン)	8月 29日 土	○	2
銀河鉄道の夜2020	9月 25日 金 ～10月 2日 金	○	3
星の王子様	11月 11日 水 ～ 13日 金	○	4
オレステスとピュラデス	12月 6日 日 ～ 11日 金	○	4
アーリントン	1月 16日 土 ～ 23日 土	○	4

スタジオ主催公演

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
なし			

III 県立音楽堂

公演名	開催日	モニタリング	参加者数
ヘンデル歌劇「リナルド」	10月 31日 土 ～	○	3
クロノス・クアルテット	10月 3日 土 ～	○	1

1. プログラムの内容、質について(脚本、演出、出演者、構成など)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	21	8	2	1	0	32
構成比	66%	25%	6%	3%	0%	100%

2. 先進性、創造性、専門性(公演の企画内容に斬新さ、創意・工夫が見られるか)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	21	10	1	0	0	32
構成比	66%	31%	3%	0%	0%	100%

3. 入場料金の設定について

	高い	やや高い	普通	やや安い	安い	計
回答数	1	9	16	4	0	30
構成比	3%	30%	53%	13%	0%	100%

4. プログラムの設定日時は適当か(開演時刻、終演時刻、公演期間などについて)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	14	13	5	0	0	32
構成比	44%	41%	16%	0%	0%	100%

5. 会場の規模や特性を活かした公演か

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	19	9	4	0	0	32
構成比	59%	28%	13%	0%	0%	100%

6. 今回のプログラムの情報の提供の仕方(広報はいきわたっているか)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	4	18	10	0	0	32
構成比	13%	56%	31%	0%	0%	100%

7. ホームページは適当か(わかりやすいか、興味を引く内容か)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	6	15	11	0	0	32
構成比	19%	47%	34%	0%	0%	100%

8. リピーターを増やす取組みは適当か(その他の公演情報の提供方法など)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	1	19	11	0	0	31
構成比	3%	61%	35%	0%	0%	100%

9. 係員の対応

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	計
回答数	11	8	9	2	0	30
構成比	37%	27%	30%	7%	0%	100%

1 公演・講座 気づいた点 (良かった点、工夫が必要な点)

※神奈川芸術劇場は「KAAT」と表記

公演名/施設	ご意見
視覚言語がつくる演劇の言葉/KAAT	<p>・手話という言語あるいは文化があることを改めて認識する機会になりました。手話をどう実演芸術が取り込んでいくのかということではなく、聾者に対して実演芸術はどう向き合うのかというキックオフの課題を示していただけたのではないかと考えます</p> <p>・指定された動画、スライドが出ない、音声が届かないなどの課題がたくさんありました。特に牧原さんの通訳をしていただいた女性の声は、かなりの部分で聞き取れませんでした。後半の坊農さんの声も同様です。折角興味深い話をしていただいているのに理解できにくかった部分かなりあるのは、あらためてオンライン発信の限界 (あるいは尚早) を思わされました。また、パネリスト、ファシリテーター、司会のそれぞれの方々も異なった場所での参加が、相互のコミュニケーションをやや阻害している (盛り上げられない) 要因になっていなかったでしょうか。</p> <p>・指定された動画、スライドが出ない、音声が届かないなどの課題がたくさんありました。特に牧原さんの通訳をしていただいた女性の声は、かなりの部分で聞き取れませんでした。後半の坊農さんの声も同様です。折角興味深い話をしていただいているのに理解できにくかった部分かなりあるのは、あらためてオンライン発信の限界 (あるいは尚早) を思わされました。また、パネリスト、ファシリテーター、司会のそれぞれの方々も異なった場所での参加が、相互のコミュニケーションをやや阻害している (盛り上げられない) 要因になっていなかったでしょうか。</p> <p>・津久井やまゆり園の衝撃的な事件以来、神奈川県では障害者との共生を考える様々な企画が行われていて、それらが一過性のものでなく、継続的に行われていることに神奈川県の本気度を感じていました。財団でもそういった考え方の元に企画されたであろう事業が行われていることは認識していましたが、このような状況下でオンラインでも継続していることに、スタッフの皆さんの熱意を感じました。</p> <p>・募集人員が40名と少なめでしたが、オンラインシステムの契約やインターネット環境によるものでしょうか? ウェビナー形式なので、もう少し定員が増やせるといいな、と思いました。</p>
ヘンデル「リナルド」/神奈川県立音楽堂	<p>・上質な公演。素晴らしいソリスト、演奏もチェンバロが特別な雰囲気醸成、楽しい演出といずれも舞台公演として堪能できるもので、観客の反応も大変良かったと思う。海外招聘ができない中、日本人のキャストであったが、全くそんな色ない。カウンターテナーも聞きごたえ十分で、レベルの高さを実感できた。また、演出については、特に音楽堂の規模や制約にあった独創性を感じた。音楽堂の特色を生かした優れた公演であった。チケット代金も内容から見ると十分リーズナブルである。ただ、後に少し触れるが、せっかくの内容を劇場に来た人だけが楽しむ (チケット代は一般的な娯楽サービスに比べて決して安くはないうえに税金で赤字補填される?) という点については、工夫が必要かもしれない。コロナ後のオンライン配信の進展を見ると、もっと安い価格で劇場に来れない人にも楽しめる機会を提供できるかもしれないと思われる。</p> <p>・音楽堂の狭さを苦心して活かした公演になっていた点では十分に評価できる公演でした。ただし、同じ作品が同じ演出で東京オペラシティコンサートホールで公演されていることを考えると、舞台の見栄えとしては少し余裕のある舞台の方がよかったのではないかと印象を受けました。ただし、カウンターテナー、ソプラノの聴きごたえは、音楽堂の方が力強さを感じられて良かったのではないかと想像します。</p> <p>・会場入り口に掲示がされていたのかもしれませんが、アルガンテに歌詞が入っていないことに上演中に気づき、さすがにいくらオペラでもこれは作品の出来に大きく影響をしていることにやや愕然としました。もしかしたらアナウンスもあったのかもしれませんが、そのことに気が付かないで公演を観た観客にとっては、辛口の評価しかなかったのではないのでしょうか。残念でした。もちろん、終演後調べたところ出演者の変更を知り、致し方ないことと承知をしました。</p> <p>・舞台美術は、古楽器の演奏、狭い舞台を活かした演出、舞台美術、照明など音楽堂の狭さを補う工夫がされている公演でした。</p> <p>・リナルドの扱いと衣裳については、理解が及びませんでした。</p> <p>・演出が面白い。とくに小道具がよい。</p> <p>・ステージの使い方はシンプルだが、ゲームの世界に入っているようでよい。</p> <p>・RPGのキャラがホワイエの柱などに貼られており演出的に面白いと思った。</p>
トゥーランドット/県民ホール (大ホール)	<p>・出演スタッフ、舞台美術、脚本全てが良かった。ただし、原作の関係だと思うが、内容に若干荒唐無稽な部分があった。</p> <p>・全般にわたって満足する作品であったと考えます。</p> <p>・演出が合唱の代わりにダンサーを配置し、その情景を踊りでうまく埋めていると感じました。特に空中を浮遊させるなど、空間を埋める工夫が踊りの振り付けも含めて効果があったように思います。また、最後のシーンなどに観られるように背景のセットから身を乗り出すシーンは、背景色からも浮き出した立体の彫像を思わせる好印象を受けました。</p> <p>・舞台美術は、合唱を舞台装置の中に配置することや玉座を高い位置に配置するなど踊りを含めて高さを使った演出に効果を発揮していたように感じました。色調をやや暗めに押さえ、断首が繰り返される危険な城のイメージがありながら、ダンサーが彫像として配置される場面では、白い衣裳がひと際立体的な効果を出せているように感じました。</p> <p>・演出、舞台美術をさらに効果的に照らしているのが舞台照明で、一幕の赤い夜空は危険な城を象徴的に表現されているように感じました。</p> <p>・衣裳デザイン、指揮者、もちろん18日の姫、王子、そしてリュウは聴きごたえがありました。</p> <p>・コロナ後初となる? 大型オペラの実施ということで、観客も大きな期待をもって参加したようであり、熱意が伝わってきた。また、公演内容もよく、特に舞台全体を立体的に使ったダイナミックなダンス、演出は堪能できた。トゥーランドットというグランドオペラにふさわしいキャストやオケも素晴らしく、県民ホールの存在感を示す良い舞台公演であったと思われる。また、入場制限 (主催者側にとって、入場料収入が激減すること意味する) のおかげでゆったりと鑑賞でき、複雑な気分である。(観客へのライブ配信は初期費用の問題もあって難しいのだろうか。)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮者を変更し、稽古に入れるかどうかかわからない状態が長く続いたと思いますが、無事上演できて本当に良かったです。このような状況下でも例年通りアンダースタディを募集しているチラシを見た時、制作側の本気を感じました。 ・セットの中から合唱団が一人ずつ顔を出すという演出が非常に面白かったです。合唱団が密にならないように考えた演出なのか、もともとそういう演出プランだったのかはわかりませんが、合唱が立体的に上から降ってくるように聴こえました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスを組み合わせた演出は斬新で、視覚的な楽しさを提供してくれるが、1幕は、合唱が分散しており、かつダンサーが前面に出ていて、オーケストラの音が合唱より勝っており、バランスが悪かった。2幕以降は、ダンサーの位置が舞台上より、背面や宙ぶりの演出が多く、音楽を邪魔しないようになって合唱の音量も適切に聞こえてきた。
銀河鉄道の夜 2020/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良い内容であったが、主役のジョバンニとカンパネラが背が高く、子供を演じるのにやや違和感があった。 ・コロナ禍の中での公演再開は多くの負担があり大変だったと思います。白井監督は4月初まり劇場の一定の安全性について、KAATのWEBでも述べていらしゃいました。その後不幸にも感染者を出す他所の公演があったのも事実ですが、本公演にごごつけることができた監督をはじめとするキャスト、スタッフそして神奈川芸術劇場の皆さんのご苦労をお察しします。 ・内容としても、「イーハトーボの音楽劇『銀河鉄道の夜』」を新たなプロダクションとして再生し、初演当時のクリエイティブスタッフとともに新たなキャストも加わった本公演は、今の時代背景にもマッチした2020ヴァージョンに仕上がったと思います。この状況下、演奏者のピットが客席に作られていたのもよかったです。 ・新しい作品を数多く世に問うてきた白井監督が、自身の芸術監督最後の年に、15年前の作品を再演しようと思った背景にはどんなことがあるのか考えてみました。芸術監督が交代しても、これまで生み出してきた新しい作品がまた違った形で再演されるかもしれないと想像すると、とてもワクワクしてきます。 ・今回の公演は平日も全てマチネ開催で、これまでの公演よりも休演日が多いような気がします。これらは終演時間やホール消毒等感染症対策に影響しているのでしょうか？休演日を挟めるというのは劇場主催の強みでもあると思います。施設の財団占有使用率等も気になるところかもしれませんが、今後ぜひひ気をつけて開催いただきたいです。
星の王子さま /KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス、衣裳、美術、音楽、照明のそれぞれが大変密度のあるクリエーションがなされており、バランスの良い舞台であるのと同時に大変上品な作品に仕上げられている印象を受けました。 ・星の王子様のストーリーを熟知している方であれば問題ないが、ACT1のS1～S11、ACT2のS1～S13のテーマ（例えば「精神の風」）がどこかに表示されるとより、作品を知ることができたように思います。 ・始まりまでの効果音によるBGMがいつもながら良い。キャストによる館内放送も良い。今後もこうした演出を続けてほしい。 ・ステージの使い方も含め、とにかく日比野克彦氏のセットが作品を象徴するように演出され、シンプルでありながら作品としてもさすがだと思った。コンテンポラリーダンスを採り入れた劇は芸術家同士のコラボレーションなのだとあらためて思った。また、アオイヤマダさんの芝居がフレッシュで印象に残った。 ・観客に占める男性の割合のあまりの少なさに少し驚きました。「星の王子さま」という演目が影響しているのでしょうか？また男性の中でも特に年配の方の割合はさらに少なかったような気がします。ターゲットは想定通りだったのでしょうか？優しい気持ちにさせてくれる演目だけだけに少し残念でしたが、子どもを見かけたのはうれしかったです。 ・斬新な美術、衣裳、音楽と踊りが融合して、洗練された作品をつくりあげていた。優れたダンサーたちが個性を発揮していて、質の高い舞台だった。
東京バレエ団 M/県民ホール (大ホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・三島由紀夫の生涯をバレエ作品に仕上げたベジャールのオマージュ作品が没後半世紀という年に上演されるのは企画として相応しい試みであったと考えます。さらに、この作品が三島由紀夫の著作作品の舞台化というのではなく、三島由紀夫という作家の生きざまと作品世界をダブらせて創られた作品として大変に価値があることと考えます。 ・さらに、東京バレエ団の新たな気鋭のダンサーによる作品作りは、先の上演以上に質の高い舞台であったと考えます。 ・バレエにも三島作品にも明るくない者にとって、バレエ好きなのか三島好きなのか、はたまたベジャール好きなのかはわかりませんが、あれだけの数の来場者がいたことに驚きました。10年前の初演の時の集客はわかりませんが、少なくとも現在は横浜で意欲的なバレエ作品を上演することを、集客の点で躊躇する必要がないのだな、という印象を持ちました。 ・ベジャールの「M」は初見だったが、初演から賞賛されてきた舞台を、三島由紀夫没後50年の今、見ることができてよかった。舞踊と音楽と美術が調和し、細部まで洗練されている舞台は圧巻で、終幕まで一気に魅せた。
クロノス・ クァルテット /神奈川県立 音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> ・クロノスの中止代替企画と街なかトークカフェを一緒にしたことで、内容的にも時間的にも興行的にもちょうど良い一つの公演になっているという印象を受けました。 ・街なかトークカフェで、田中さんの声はとてもクリアで聞き取りやすかったのですが、松山さんの声がマイクの位置のせいかわかりませんが、非常に聞き取りづらい箇所が多く残念でした。また音楽のボリュームを絞った状態でトークが再開する箇所が何回かありましたが、松山さんの声質から考えると、音楽を切った方が良かったのではないかと思います。響きの良いホールでトークを行う場合に起こりがちな現象だと思われます。聞き漏らしたくないので、次回このような企画をされる場合は、特に入念に確認していただければありがたいです。
Toshi伝説/ 県民ホール (大 ホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの最後に書かれている一柳氏の「リモートの増えた昨今、生の演奏だからその音楽の空間性、身体性を体感いただけるようスタッフとともに力を尽くしてきた」という言葉に感銘を受けました。やはりフルオーケストラによる生演奏（しかも現代音楽の演奏）には感動しました。 ・配置換えの時間を利用したトークは大変良かったと思います。一柳慧さんの震災やコロナ禍に纏わる音楽に対するお考えを聞くことができ観客のみならず満足したのではないのでしょうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台転換に時間がかかると演奏への集中力が途切れてしまうことがままあります。トークのコーナーが入ったことで、集中力を切らすことなく前半を聴くことができたのではないかと思います。 ・手袋をつけて舞台転換をしていたのは、東京フィルのスタッフの方たちでしょうか？ 大人数が参加する催し物を開催するために神経を遣っていることが伝わってきました。 ・配布されるプログラムノートが二カ国対応になっており、日本語を母語としない方にもとても有益になっていると思うのですが、ページ数の関係で文字のQ数が小さくなっているのが痛し痒し、と思いつつ読んでいます。 ・芸術監督就任20周年を祝う機会として、さらにセレブレイト感があってよかったのではないかと。 ・鈴木優人指揮、成田達輝ヴァイオリンとオケの組み合わせが大変に良い
アーリントン/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者は適材であった。 ・会場のあった舞台設定となっていたと思う。 ・ただただ管理された社会の理不尽さと恐怖を覚える公演でした。それはシチュエーションもわからないし、登場人物の関係性も具体的に示されない。待合室だという説明はどこかに書かれていたが、待っているのも一人だけ。そして扉が開いて出て行った先の顛末もわからないことへのジレンマと未来も解決策も示されないことに起因するのかもしれませんが。きっと戯曲が示すそのものが目の前に示されたのだと思いますが、これもどこかに書かれていた「ラプストーリー」というのは、次元の異なる偏執的なものという印象を強く受けました。芝居を観ることが居たたまれない公演でした。 ・まずは無事上演できて本当に良かったです。 ・新型コロナウイルスの感染者が増加し、緊急事態宣言発出1週間後が初日ということで広報に苦労されたのではないかと思います。固定席ではない大スタジアムでの公演ということでどのような対策をするのか関心を持って伺いました。椅子と椅子の間を空け気味で並べていた感じでしょうか？ 感染症対策と来場者数増加という二律背反状況の中、適切な対応をされていると感じました。 ・もともと企画されていたのが、緊急事態宣言で延期されての公演だったが、コロナ禍でさまざまな制約が課されるなかで公演されたことで、作品がまた違ったコンテクストを得て、まさに今、ここにあることを問う作品となっていたのではないかと。
オレステスとピュラデス/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者、衣装、演出ともに素晴らしかった。 ・演目は好みによると思いますが、出演者の歌唱力、声量に圧倒された。 ・人気の漫画「ワンピース」を彷彿とさせる衣装が斬新かなと思った。 ・また、会場にかすかに爽やかな匂いがただよび、清潔な感じがした。 ・新型コロナの制約の中でありながら舞台と客席の距離を巧みに取りながらも、客席との親和性が高く、一体感を感じさせる工夫がみられる。 ・全く“裸”の舞台でありながら、日常的な舞台袖に置かれている舞台備品などを巧みに活かした舞台転換、舞台の奥行きを深さを距離であったり時間であったりする違いの表現に活かした演出は、劇場を活かしたでありKAATでした味わえない時間と空間を堪能できた感がある。 ・演出だけでなく舞台美術、衣裳、音楽、舞台照明などのデザイナー及びスタッフが協調できた作品に仕上げられていた。 ・プログラムに書かれていた説明がとてもわかりやすく、観劇の助けになりました。 ・まさにKAATのホールを生かした公演だと思いました。他の劇場と共同制作というのももちろん意義深いのですが、劇場の基本理念として今回のような「KAATならではの」演出で、「KAATだけでしか観られない」という考え方も大事にしていきたいと感じました。 ・意欲的な作品で、カラの舞台を最大限に活かし、大胆な空間構成をしていた点が面白かったが、登場人物たちのアンサンブルが、今ひとつ、その広い空間を埋められなかったように思う。ラップ調の展開やダンスを取り入れた動きなど、もう少し練られたらよかったと思う。

2 広報宣伝 気づいた点（良かった点、工夫が必要な点）

公演名/施設	ご意見
視覚言語がつくる演劇の言葉/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・謎めいたタイトルが良いのかどうかはわかりませんが、視聴者が定員を超えていることは、共生社会という課題の中では関心が高いことだったのではないかと改めて考えます。参加者の属性を調査していただくだけでも、今後のプログラム開発に役に立つのではないのでしょうか。 ・HPにアップされているチラシの文字が一部ぼやけていたので「なぜだろう、見にくい」と思っていたのですが、TwitterとFacebookにアップされていた動画で納得しました。なぜHPは動画にしなかったのでしょうか？
ヘンデル「リナルド」/神奈川県立音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> ・広報については、主演の芸術家を中心にInstagramや公演配信などが行われているようであるが、こういったものとの連携はどうなっているのだろうか。東京オペラシティでの講演は配信するようだが。 ・音楽堂のHPは、終わった公演については削除をされるのでしょうか。アーカイブに文字情報は残っていますが、広報用に作られた内容がチラシも含めて確認できませんでした。 ・音楽堂ツイッターが情報発信をしっかり行っており、練習風景などが掲載されており作品に対する思いも伝わってきてよかったと思う。
トゥーランドット/県民ホール（大ホール）	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを拝見したが、概ね良い内容だと思います。ただし、オペラを好きな方には分かると思うが、有名な題目であるので、もっと一般の方にもアピールできたか？とも思います。 ・グランドオペラをどのように広報するのかは大変難しいと思います。結果から言えば、今回のプロダクションの最大の特徴はEアルカオスのダンスだったように思います。つまり演出の力があつた作品ではなかったかと思えます。もちろん、その全体を引き締める指揮者の力量があつたことだとことだと考えます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ウェブページはよくできている。ただ、せっかくなので、メイキングや演出家のインタビューあるいは対談の動画などあるとよいのでは？また、アートプレスを拝読したところ、メイキングでは、リハにおいてもフェイスシールドなどを使って、感染防止に努めたことなどの紹介がなされていた。オペラのような音声（飛沫拡散）を大きく伴う舞台芸術は特にコロナにおびえる中高年が主要な観客だと思うので、十二分な感染防止対策をしているということをしつかり発信する必要があると思う。また、会場のサインボードには、社会的距離を取ることや感染予防のLINEの紹介があったが、たとえば会場の換気などについても、（新幹線は6-8分で車両の空気が入れ替わるといった情報をHPに掲載している）、くどいくらいに発信しないと、観客が戻ってこないのではないかと危惧している。 ・各地のコンサートやオペラが軒並み中止になり宣伝にも苦労されたと思いますが、SNSをうまく活用して広報されていたと思います。 ・中止になってしまいましたが、かなつくホールとの連携公演のような関連企画は、今後もぜひ検討していただきたいです。 ・コロナで劇場を通じての広報がやれない時期だったので、ネット上の拡散が重要だったと思う。また、関連企画が中止になるなど、コロナ禍の影響を受ける中での広報宣伝だったと推測する。9月中旬に観客席の制限緩和がなされたが、観客の心理を考慮し、大劇場で密になる座席配置は、まだ抵抗感があるとの判断から、追加販売をしなかったのだと思うが、新国立劇場では、追加販売を行っていたので、追加席販売を多少、行ってもよかったですのではないかと。
東京バレエ団M/県民ホール（大ホール）	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台ポスターとしても異色のデザインで、大変に興味を引く作りになっていたと考えます。 ・三島由紀夫没後50周年企画ということなので、文学関連の関連企画があればさらに作品への理解が高まったのではないかと感じました。 ・三島由紀夫没後50年の話題と共に、メディアでも採り上げられていた。チラシはバレエが上演される他の劇場などでも目にすることがあり、バレエ愛好家には、情報は届いていたと思われる。
銀河鉄道の夜2020/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・広報もままならなかったと思います。この状況下ライブ配信も実施予定で制作し収益性が厳しい中で、目に見えない様々な苦勞と工夫を凝らした点について評価したい。多くの来場者を呼びたいが、3密を招きクラスターを発生させることへの不安も運営者にはあります。万全な対応を心掛けても利用者からは「制限が甘い」または「もっと自由に見たい」などのご意見があるかも知れませんが、安全安心を第一に厳しく対応しながら、その上でやはり劇場での観劇にこそ当館の使命を見出していただきたいと思います。 ・ホームページに様々な媒体に掲載された関係者へのインタビュー記事のURLが貼ってあったので、興味のある人には非常にアクセスしやすかったのではと感じました。 ・チラシとプログラムのデザインがとても素敵でした。特に夜空の青が本当にきれいで、紙の質感もとても合っているなあと感じました。
星の王子さま/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらい線にあるプロモーションを劇場に行く前に発見できませんでしたが、帰りに見つけることができました。工夫した取組みなので可能な限りまた実施してほしい。 ・「星の王子さま」はメジャーな作品であり近隣の都県にも積極的に広報してもよかったですのではないかと。若い人たちの来場者が目立った点からあらためてそう感じた。ただし、インスタグラムなど出演者や関係者の投稿が複数あり、このようなメディアの利用が作品への興味関心を抱かせることにもつながると思った。 ・駅のパネルを使ったSNS投稿の呼びかけの取り組み、とても面白いと思いました。呼びかけに応じた投稿はどのくらいあったのでしょうか？ KAATのTwitterでリツイートしても良かったと思います。 ・元町の地下鉄の構内に、星の王子様のパネルがたっていたのが帰路に分かった。
クロノス・クアルテット/神奈川県立音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の公演のチラシを確認しそびれてしまいました。すみません。演奏会が少なく、チラシを受け取る機会が極端に減ってしまっているため、広報が大変だったと思います。ぶらあぼの公演情報にも掲載がなかったようですが、トーク・イベントのようなものは掲載できないのでしょうか？ 広報が難しい中、KAATでのARTS PRESS配布が音楽ファンにリーチできる機会になったのではないかと考えられます。
Toshi伝説/県民ホール（大ホール）	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB特設サイトは大胆なインパクトある先頭ページで、来館前の期待感に応えるものになっていたと思います。各ページで日英表記がされていたことも親切でしたがイメージアップにもつながっていたと思います。 ・公演前に曲目解説がホームページにアップされているのを見て驚きましたが、一度読んでいたので曲目解説以外の文章をじっくり読むことができ、ありがたかったです。 ・ホームページの特設サイトがとても見やすいと思いました。 ・一柳シート、TOSHI伝説シートなどチケットセールスの工夫が見られる ・残念ながら現代音楽で満席が見込めないと考えれば、売れ残る席を普及・啓発に活用できなかったのだろうか
アーリントン/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・多分予算の関係であると思うが、全体的に地味な広報であると感じた。 ・この公演をどう周知してよいのか、観劇後もよくわかりません。捉えどころのないシチュエーション、作品展開。チラシの掲載写真を見ても、演出も変化してきたように思われます。 ・今回の公演に関する記事がさまざまな媒体で取り上げられていることについてTwitterでこまめに発信されているので、タイムリーに知ることができました。こまめにツイートしていることがフォロワーの増加やSNS世代への効果的な広報になっているのだろうと想像しています。
オレストスとペーラダス/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・低料金でのチケット料金設定は、大変好ましい。また、U24チケットや高校生以下割引、シルバー割引などさらに多様な料金設定が工夫され、アクセスビリティへの貢献が期待される。 ・この公演に限ったことではありませんが、チラシ等では伝えにくい最新の情報を適切な時期にこまめにホームページ上にアップしてあるので、情報を得たいと思っている方に、届きやすいのではと感じています。また継続して更新することによって、KAATの公演はホームページを見れば新しい情報にアクセスできる、という意識の醸成にもなっていると思います。 ・客席には、複数回来ていると思われる役者のファンがいるようだった。

3 サービス 気づいた点（良かった点、工夫が必要な点）

公演名/施設	ご意見
ヘンデル「リナルド」/神奈川県立音楽堂	<p>・係員は努力されていると思う。ただ、ほぼ満席に近く、幕間のトイレは特に女性トイレは2階から1階まで行列となり、ソーシャルディスタンスどころではなかった。いつものことだが、何か工夫はないのだろうか。（私は隣の図書館？のトイレまで行きました。）</p> <p>・やはりトイレのキューアップでは、女性から不満の声が漏れていました。積極的に図書館などのトイレが使えることをアピールすることは難しいのでしょうか。</p> <p>・神奈川県立音楽堂の徹底した感染防止策やクラスター対応（ココア含む）に比べると、少々粗雑なオペレーションだったような印象を受けた。</p> <p>・チケット半券の裏面に個人情報を入力してもらうための鉛筆は数が多いだけで、入場前に来館者がアルコール消毒すらしていない段階で使用させることに心配を感じた。</p> <p>・消毒や登録について確かな説明がなく、半券の渡し方もビニールシートに遮られ説明がよく聞こえないため、千切って渡すのが当たり前のような感じの悪さを味わった。</p> <p>・洗面所に並ぶ利用者の列はなんとかならないか気になり、洗面所の配置や混雑する使用上の注意など事前説明をもっと早い時点で徹底すべきだと思った。</p> <p>・コロナ対策に係る説明が少ない。館内放送は開場後45分たって初めて行われたが、その段階で着席している人たちが接触確認アプリを登録に行くタイミングではなく、席を立つ人はいなかった。</p>
トゥーランドット/県民ホール（大ホール）	<p>・コロナへの対策が十分できていて、観客としても安心できたと思います。</p> <p>・やはりトイレのキューアップでは、女性から不満の声が漏れていました。積極的に図書館などのトイレが使えることをアピールすることは難しいのでしょうか。</p> <p>・終演後の分散退場のアナウンスが遅く、多くの人が立ち上がって勝手に（社会的距離を取りながら）退場していった。もし分散するのであれば、タイミングを逸しないようにアナウンスすべき。また、くどいようだが、マスク着用といった観客への感染防止の呼びかけだけでなく、劇場側が大変な努力を払って出演者の感染防止に取り組んでいることや、劇場内外でも工夫していること（飲食禁止やバルコニーの開放、換気の強化など）も控えめに情報共有しているが、きちんと積極的に説明してはどうだろうか。より安心して劇場に来れるようになるのではないだろうか。</p> <p>・サーモカメラではなく、係員の方が観客一人ずつの検温を行っているのを見て、最初は「観客が密になるのでは？」と思いましたが、テキパキと捌いていて感銘を受けました。ぜひ今回対応に当たった係員の方のご意見を聴取いただいて、観客を制限せずに開催する公演に備えていただければと思います。</p> <p>・会場への案内の分かりやすさ ・安全への配慮（警備、セキュリティーなど） ・高齢者、障害者、子育て世代、青少年などの鑑賞機会確保のための配慮） ・会場内の飲食サービス ・観客へのアンケートの内容 など コロナ対応の注意が徹底していて、安心できる対応だった。</p>
銀河鉄道の夜2020/KAAT	<p>・コロナウィルスの対応なども、十分に気をつけた対応であった。</p> <p>・安全への配慮（警備、セキュリティーなど） 劇場1Fのライン登録のスペース取りと対応者の数など、普段ではありえない仕組みづくりと工夫について評価したい。</p> <p>・また、市松模様状の座席仕様および使用できない席へのシートカバーの配置は、利用者を制限しているように見えて安全な劇場公演の機会提供という観点から意味があります。これを継続し、ある程度慣れてくるとこの仕様を緩和させて利用者確保に向けていきたいという要望が出てくる可能性があります。しかし、当面確実に実施することが大変重要です。</p> <p>・受付、インフォメーションスペースなど顧客に対し適切な対応ができていました。今回チケットを郵送にしたことは、費用もかかり個人情報の別途管理の面もあり苦労があったと思いますが評価したいと思います。</p> <p>・KAATのトイレは空いているところがわかりやすいですが、それでも案内してくれる人がいることで、列が長くなりすぎず、とてもありがたかったです。</p>
星の王子さま/KAAT	<p>・客出しのアナウンスを行う前から、席を離れる観客が少なくない。タイミングと周知方法には、工夫が必要のように思います。</p> <p>・客入れは、大変に手間がかかる作業が行われている割には、トラブルは少ないように思います。ただ、もう少しスムーズに手続きが終われる方法はないでしょうか。</p> <p>・安全への配慮（警備、セキュリティーなど） LINEコロナ登録は公演ごとの登録と係員の方から聞いてなるほどと感心した。</p> <p>・席作りは相変わらず市松模様で安心感がある。また、消毒用アルコールがわかりやすい箇所に複数配置され使いやすかった。</p> <p>・客数を制限しているせいか、トイレが混雑することもなく、比較的落ち着いた感じに対応されているような印象です。マスク＋フェイスガードなのでかなり息苦しく感じるのではないかと思います。慣れてきているかもしれませんが、体調に留意して、業務にあたっていただければと思います。</p> <p>・客入れのアナウンスが、ダンサーによるユニークな語りかけで楽しめた。終演後の退場は、エリアごとに時間差でと指示されたが、もとより、観客席は半分以下に制限されているので、スムーズに退出できた。</p>

東京バレエ団 M/県民ホール (大ホール)	<p>様々な新型コロナ対策が行われていましたが、客出しのアナウンスのタイミングはもう少し工夫できたのではないかと感じました。部分退場の指示がある前に、既に離席されている方を多く見受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終演後、プログラムを購入しようとする人の列が、帰ろうとする人の動線を塞ぐような形になってしまっていたので、次回は並んでいただく方向に注意していただきたいと思いました。 ・ 会場への案内の分かりやすさ ・ 安全への配慮（警備、セキュリティーなど） ・ 高齢者、障害者、子育て世代、青少年などの鑑賞機会確保のための配慮） ・ 会場内の飲食サービス ・ 観客へのアンケートの内容 など ・ コロナ対応の注意が徹底していて、安心できる対応だった。コロナ感染症に関する劇場等のガイドラインが緩和された後だったが、客席は半分以下に抑えられていて、密な感じを持つことなく観劇できた。
クロノス・ クォルテット /神奈川県立 音楽堂	<p>・ 通路より後ろの席には、1列おきに座っていただくためのテープはかけられていなかったのでしょうか？係員の方が声を出してご案内されていましたが、なるべく声を出さないですむよう、予め準備しておいた方が良かったかもしれません。係員の方も声を出すのは躊躇されたのではないかと思います。</p>
Toshi伝説/県 民ホール (大 ホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全への配慮（警備、セキュリティーなど） ・ コロナ禍への対応も定着してきていると感じたが、休憩時のロビーでの3密はいかんともしがたい状況です。座席指定は工夫されており安心して来場者もコンサートを満喫できたと思います ・ コロナ対策に向けた落ち着いた館内放送には好感が持てました。また英語で合わせて呼びかけたこともよかったですので、今後も続けてもらいたいと思います。 <p>・ 係員の対応というわけではないのですが、座席を移動していただく方に対して、座席にメモが貼ってあるのを見かけました。あらかじめ連絡されていたかどうかわかりませんが、当日の対応としてはわかりやすいですし、できるだけ接触を減らすという意味で良いと感じました。</p>
アーリントン /KAAT	<p>・ 相変わらず、係員の対応は良かった。</p> <p>・ 昨年の上演延期に加えて、緊急事態宣言発出下での公演であり、出演者及びスタッフ、関係者のご苦労と努力が感じられました。ただ、この管理された鑑賞までの手続きが続くことは、徐々に劇場に足を運ぶ市民が減っていくのではないかと懸念します。</p> <p>○あまりお客様と接しないようにしなければならぬため、これまで培った係員の方のノウハウが生かしきれないかもしれませんが、現在スタンダードになりつつある接客方法をよりブラッシュアップしていただけることを願っています。</p> <p>○係員の方の対応が、完全にコロナ仕様に適応しているな、という印象を持ちました。（お客様が慣れてきた、というもあるかもしれませんが）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会場への案内の分かりやすさ ・ 安全への配慮（警備、セキュリティーなど） ・ 高齢者、障害者、子育て世代、青少年などの鑑賞機会確保のための配慮） ・ 会場内の飲食サービス ・ 観客へのアンケートの内容 など <p>・ コロナ対応の注意が徹底していて、安心できる対応だった。前回にKAATに観劇に行った際には、1Fの来場者登録や体温検査等を求める対応が、ものものしく、入り口も一か所に限定されるなど、若干の不便さを感じていたが、今回は緩和されており、圧迫感がなかった。（LINE登録をしつこく求められるのは避けたかったが、今回、それがなくてよかった）</p>
オレステスと ビュラデス /KAAT	<p>・ 誘導などは、行き届いていた。劇場に入るときに、コロナ対応で、QRコードの読み込みや来場カードの記入など、すぐにホールに入れないのだが、誘導は円滑だった。また、休憩のない舞台だったので、不都合なこともなかった。終演後も混雑はなく、スムーズだった。</p>

4 施設について

公演名/施設	ご意見
視覚言語がつく る演劇の言葉 /KAAT	<p>・ 私自身のネット環境では、問題なくZOOMでのウェビナーを観ることができました。ただPCのマイクのせいか、声が部屋に反響するからかはわかりませんが、坊農さんのお話が若干聞き取りにくかったのが残念でした。</p>
ヘンデル「リ ナルド」/神 奈川県立音楽 堂	<p>・ 近隣に飲み物を売るところがない。終演が6時45分予定で、かつ長時間の公演であり、常連さんたちは飲食物を持ち込んでいたが、自販機かデイリーヤマザキまで行かないと暖かな飲み物が入手できないのは、コロナで通常行われるようなサービスが難しいとはいえ残念であった。音楽堂自体が素晴らしい建築物で、優れた公演を行っても、近隣への波及効果は極めて限定的のように見える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設やロビーの雰囲気 ・ 施設の状態（安全、清潔、快適さ） など ・ トイレの数と客席の狭さは、永遠の課題でしょうか。 <p>・ ホワイエは休憩席が極端に少なくなっていたため、ほとんどの利用者は開場後ホール内の座席についていたと思いますが、芸術劇場と異なり平常時と同じ状態で隣り合わせの着席になっており、近くでおしゃべりする人もおりコロナ対応に対する疑問を感じた。また高齢者が多いことも不安の一つだった。やはり一つおきの着席に設定することは難しかったのだろうか。</p>
トウラン ドット/県民 ホール (大 ホール)	<p>・ いろいろな意味で古い施設である。正面玄関の階段にひびが入っていたり（雨水が入るとコンクリートは劣化します）、トイレも気になる場所だが、今回幕間に劇場の外に出て改めてよく見てみると、周辺の環境、ロケーションもよく、華やかな雰囲気のある良い施設でもある。ヨーロッパの（すべてではないが、いくつかの）劇場のように、老朽ではなく成熟した施設になってほしい。（クラウドファンディングなどしてはどうか。）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・バーカウンターの営業がなく少し手持ち無沙汰になりがちですが、ロビーから外に出られる上に海も見えるという構造のおかげでロビーが密にならず、観客もくつろいで休憩時間を過ごせていたように思いました。 ・コロナのことがあるので、物販、飲食の提供は行わないという方針だったのだと思うが、休憩時間が長いので、ペットボトルの飲料の提供など、あってもよかったのではないかな。
銀河鉄道の夜 2020/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・施設やロビーの雰囲気 館内放送にて、Bluetoothをオンにするよう説明がありよかった。 ・施設の状態（安全、清潔、快適さ） など 順番待ちマークが整然と配置されておりよかったです。 ・1階の正面入口から入り、そのままエレベーターに乗ろうとしたところ、サーモグラフィーの前を通るように言われました。レストラン側の入口からはスムーズにサーモグラフィーの前を通るような動線が作られていたので、正面の方に注意書、もしくは入口のところに係員の方が立って、案内できるようにしていた方が良かったかと思いました。
星の王子さま /KAAT	<ul style="list-style-type: none"> 館内放送にて、Bluetoothをオンにするよう説明があり、あらためてよかったと思った。 ・季節的にビュッフェから外へ出る扉が開けてあっても寒くないので、換気ができて良かったと思います。今後気温が低くなってからどのようにするか難しいところですが、サーキュレーターなどを活用して、こまめな換気に取り組んでいただきたいです。
クロノス・ ケアルテット /神奈川県立 音楽堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビーの椅子が一人掛けの物に変更になっているのを見て、お客様が多く入る公演ではどのような状況になるのだろう、と想像しました。冬に向けて換気と寒さ対策の両立はどうなるのか、クロークやロッカーを引き続き使用中止にした場合、客席の前後にあまり余裕のない作りの中で、冬の大荷物や邪魔になるが大丈夫か、など考えることはいろいろあると思います。公演の内容に関しても制約が出てきてすべきことが増えているとは思いますが、お客様対応に関しても様々なシミュレーションをして問題点を確認していただければ、一観客としてとてもありがたいです。
東京バレエ団 M/県民ホール (大ホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・先月、オペラを観に行った時は天気もよく気温も高かったので、開演前も休憩中も外に出ている方が多かったのですが、今回は寒くなってきたこともあり、ほとんどの方がホール内もしくはロビーにいらっしやいました。冬の公演ではどうしてもそういう傾向になってしまうと思うので、お客様同士が密にならないよう、より留意していただきたいと思います。 ・休憩なしの上演だったので、あまりロビーに滞在する時間がなく、不都合なことも特になかった。
Toshi伝説/県 民ホール (大 ホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設は清潔でした。アルコール消毒の配置も行き届いていました。 ・ラインの見守りサービスの掲出がされていましたが、登録をするようさらに呼び掛けてもよかったのではないのでしょうか。 ・いつか、大規模改修が実現しますことを切望いたします。
アーリントン /KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・施設は十分に管理されていたと思う ・LINEへの登録、また会場ごとのQRコードの読み込みなど徐々に手続きが増えている（変更されている）ことには煩雑さを感じます。きっと携帯電話を持たない方への対応なども考えられているのだと思いますが、アクセシビリティについてはできるだけ阻害要因を軽減化することをお願いしたいと考えます。 ・椅子の下に荷物用のカゴが置いてあったので早速使わせてもらいました。ロッカーの利用停止に伴って設置したのでしょうか？（以前はなかった気がします）。荷物の多い季節なのでとてもありがたい措置でした。 ・座席は、パイプ椅子で、椅子と椅子との間に距離がとられていて、コロナ対応座席として安心できた。また、椅子の下に籠が置かれていて、荷物を床に直接でなく置くことができました。冬場でコートのある季節なので、便利だった。
オレステスと ピュラデス /KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者が近くで見ることが出来てよかった。 ・一人置きを着席であり、すぐ前の席は空けてあるので、コロナ禍ではあっても、ゆったり見ることが出来た。 ・エントランスホールでのプロジェクションは、あの吹き抜けの空間を活かした試みだけでなく、観劇前の高揚感だけでなく終演後も楽しませてくれる効果が期待できます。もちろん、映像デザインの素晴らしさがあった効果だと感じました。 ・市松模様での販売が続いているので現時点では問題はないと思いますが、今後、全席を販売することになった場合、ロッカーをどのように運用するか、というシミュレーションはされているのでしょうか？かなり寒くなってきておりコート等の嵩張り荷物が多くなっているので、気になりました。感染拡大を防ぐ、という神奈川県としての大きな目標とともに、観客数を増やす、という財団の目標もあるかと思うので、さまざまな想定の下に運営方法を考えていただければと思います。 ・劇場入り口が1か所に限定されているので、中華街方面から出入りしたい際に、戸惑った。

5 自由意見

公演名/施設	ご意見
視覚言語がつくる演劇の言葉/KAAT	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでのWEB発信を行うためには、これまでの劇場技術者だけの対応では限界があります。通信技術やWEB、PCの操作などの技能を有する技術者の配置が不可欠です。 ・今回の画像が今後もオンデマンドで見ることができるようなアーカイブスの構築も期待されていきます。 ・確かに手話は観者にとって重要なコミュニケーションツールですが、実演芸術を観者に伝えるために不可欠なツールではありません。そのことも踏まえて今後このプログラムがどう展開されていくのか楽しみです。

	<p>・演劇や音楽のネット配信が各所で行われるようになりましたが、やっつけ仕事という印象が拭えないものも見受けられます。やはり舞台芸術作品を生ではない形で届けることの難しさを感じます。しかし今回のようなセミナーや講演会のようなものはオンラインによって時間や場所のハードルを下げることで、これまで参加しづらかった層にもアクセスの機会を増やすことになると思います。劇場に足を運んでいただき、生の舞台作品を楽しんでもらいたいのはもちろんですが、今回のような催し物に関しては、オンライン開催もしくは配信を含めて開催していただければ、個人的に嬉しいです。</p>
銀河鉄道の夜 2020/KAAT	<p>・コロナウイルスがまだ収束していない状況で、このような公演を開催するのは、関係者皆様の並々なるゴ苦労があると推察いたします。</p> <p>・とにかく公演できることが重要だが、現行の対応での費用面の厳しさが心配である。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、稽古のやり方、公演の開催方法等様々な変更事項があったかと思えます。開催に漕ぎ着けるのにご苦労なさったことと思います。しかしこの大変な状態が今後どのくらい続くのかわからないということが、今後さらなる負担になってしまわないかと危惧しています。この状況下での開催に関してノウハウが積み上がってくると思います。そのノウハウを全てのスタッフが持ち寄り、次の公演に生かしていくことによって、なるべくこれまで通りの業務に注力できるような体勢を取っていただきたいと思います。それによって、より素晴らしい作品が生み出されていくことを期待しています。</p> <p>・5年ぶりに「銀河鉄道の夜」を読み返しました。読み返しながら「一つの作品が他の文化芸術への欲求を呼び起こす」という現象がいいなあ、としみじみ思いました。</p>
トウランド ドット/県民 ホール (大 ホール)	<p>・オンラインでのWEB発信を行うためには、これまでの劇場技術者だけの対応では限界があります。通信技術やWEB、PCの操作などの技能を有する技術者の配置が不可欠です。また、今回の画像が今後もオンデマンドで見ることができるようアーカイブスの構築も期待されていきます。</p> <p>・確かに手話は豊者にとって重要なコミュニケーションツールですが、実演芸術を豊者に伝えるために不可欠なツールではありません。そのことも踏まえて今後このプログラムがどう展開されていくのか楽しみです。</p> <p>・アンケート調査は紙媒体であるが、非接触型のほうが良いのではないだろうか。調査用紙はどのように誰がいつ集計するのだろうか。</p> <p>・8月末までの県の事業が全て中止になったと聞いた時オペラはどうなるのか、とても気になっていました。その後、アンダースタディの募集を見て、前に進んでいることを確認し、少しほっとしましたが、合唱団でクラスターが出たり、歌を歌うことが飛沫の拡散に繋がる、という情報が出たりして公演に関わる多くの方は気が休まらなかったのではないのでしょうか？座席を制限しての上演で収束的には厳しかったと思いますが、一観客としては幸せな時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。</p> <p>・観客席の稼働席を減じて、コロナ対応をしてという状況では、対応する職員数は多く必要となる一方、チケット収入が減じられるという厳しい環境下での上演だったと思う。リハーサルの段階から、気を抜くことができないで、関係者は神経をすり減らしてきたことと思う。無事に公演が終えられて、まずは、関係者の尽力を讃えたい。</p>
ヘンデル「リ ナルド」/神 奈川県立音楽 堂	<p>・11月3日の東京オペラシティコンサートホール公演には、アルガンテ役で大西さんが出演されたようにジャパンアーツのHPからはお見受けをしましたが、少し寂然としませんね。</p> <p>・音楽堂の空間を活かした公演は、今後も継続されるのを見たいと思います。特にホールオペラの公演は、多くの機会は望めませんが、是非音楽堂公演の目玉の一つとして継続していただきたいと思います。</p> <p>・コロナ対策がすべてというわけではありませんが、通常であれば利用者に任せてよいことも細かな点で制御しなければならないことがあると思います。制限をかける理由は「お客様のため」という苦肉の策です。また三館の特性はそれぞれ違いますが、対策やオペレーションの仕方が異なった見識では困ります。難しい場面もあると思いますが、一考願います。</p>
星の王子さま /KAAT	<p>・招待券を送付いただき、こうした対応の大変さをあらためて感じています。パンフレット引換券が入っているのに気が付かず自分で購入してしまいました。以後きちんと確認するようにします。</p> <p>・「横浜中華街×KAAT」のパンフがA4見開きサイズで以前より大きくなっていることに気が付きました。地域連携の一つとして効果がある証しだと思います。</p> <p>・衣装と美術がキレイで不思議で楽しかったです。『星の王子さま』を読み直してから観に行けば良かったな、と少し後悔しました。今、あらためて読んでいますが舞台の様子が頭に蘇ってきます。生の舞台を観る楽しみはプログラムノートや関連書籍を読んだり、音楽を聴いたりして余韻を楽しんだり、内容を反復できることだと実感しています。</p> <p>・質の高い舞台だとは思いますが、観客層は、どう想定されていたのだろうか。原作は老若男女に親しまれているだけに、幅広い人々の関心を持ってもらえそうな舞台だが、ノンバーバルの舞台にしては、やや盛り込みすぎで、子どもなどは飽きる部分もあるのではないかと少し懸念を持った。</p>
クロノス・ クアルテット /神奈川県立 音楽堂	<p>・松山さんもおっしゃっていましたが、今回の企画を知った時、うまく曲になるのかな？と私も思いました。ですが出来上がった映像作品を観て、いい意味で裏切られました。まず合唱が素晴らしい。指揮者をして「初めてみる譜面だった」と言わしめる作品をあそこまで美しく昇華させていたことに感動しました。音楽全体の縦の線がきれいに揃っていることにも驚きました。クロノス・クアルテットの演奏ももちろん素敵でした。この映像作品を作るために要した音楽堂のスタッフのみなさんの知恵と熱意と尽力に敬意を表します。ぜひホールで演奏を聴きたいです。</p>
東京バレエ団 M/県民ホー ル (大ホー ル)	<p>・終了後、大きな声で「ブラヴォー」を何度も叫んでいる方がいらっしゃいました。ご自分の感動を声に出して伝えたいという気持ちからだったとは思いますが、声のボリュームは小さく、とされている状況下で周りのお客様から苦情は出なかったのか気になりました。</p> <p>・コロナ禍で、舞台公演を滞りなく終えるだけで大変な時期に、これだけ質の高い舞台を堪能することができたのは、本当に貴重な機会だったと思う。客席はコロナ対応で満席ではないが、終演後のカーテンコールは熱気が感じられ、客席全体も高揚感に包まれていたと思う。この舞台を実現させるために、東京バレエ団はもちろんのこと、ホール関係者も相当なコロナ対策準備に神経をすり減らしていたことと思う。その労に感謝したい。</p>
Toshi伝説/県 民ホール (大 ホール)	<p>・コロナ禍での感染防止対策を実施し本公演が開催できたことは、大変良いことだと思います。</p>

	<p>・一柳シートのおかげでしょうか？ 若い人の姿が多く見られて嬉しくなりました。今回のコンサートが現代音楽のコンサートに足を向けるきっかけになってくれることを祈っています。</p> <p>・特設サイトのチケット情報でセット券より上に一柳シートが記載されているところに、若い人に聴きに来て欲しいという主催者の思いを感じました。</p> <p>・これが最後の公演と伺いました。 神奈川県民ホール、神奈川県芸術劇場KAAT、神奈川県立音楽堂が益々、横浜、神奈川県、そして日本の文化芸術をリードする拠点としての役割を果たせますように祈念します。ありがとうございました。</p>
アーリントン /KAAT	<p>・本作のテーマは、管理された社会への不安と不条理な世界感、そして男女のラブストーリーであると思うが、それと舞台の端にある衣装や、その他の小物が乱雑に置かれてい舞台が、うまくマッチングしていない。全体のストーリーが難解で、娯乐的要素も無く、もう少しウィットやユーモアがあっても良かったと思う。</p> <p>・感染症対策をしながらの稽古、上演には本当に苦労があると思います。感染者が出た時のことを考えると不安と隣り合わせの状況が続くと思いますが、今後も興味深い公演を上演し続けていただくことを1観客として願っています。</p> <p>・コロナ対応の中での公演、スタッフや出演者の苦労が察せられる。無事に公演ができ、関係者の尽力を讃えたい。</p> <p>・今回、モニタリングの対象ではないが、「富安由真展 漂白する幻影」を同日に見ることができた。これまで、ブラックボックスとなる中スタジオで行われた美術展は何度か見てきたが、今回は特に照明が効果的に使われていて、KAATならではの美術展として興味深く見る事ができた。複合文化施設の強みだと思う。</p>
オレステスとピュラデス /KAAT	<p>・袖やサスなど普段は見えない場所を見せるという空間の使い方、ホールの備品を利用した大道具など、作られていないようで、きっとよく計算された演出に、引き込まれました。</p> <p>・音楽が大きすぎる箇所と、またそれによって言葉が聞き取りづらくなる箇所がありストレスを感じました。</p> <p>・コロナ対応で客席を減らしているせいもあって、本来なら若いエネルギーがほとぼる舞台が期待されていたのだろうが、場内にはそれほど熱気が感じられず、少し期待はずれだった。経験豊かな俳優が複数いるにも関わらず、それらの力が合わさっていないのが、ややもどかしかった。しかし、作品が訴えかけようとしていることは、今の時代に大事な問いかけであり、果敢で真摯な姿勢が感じられ、それには好感を持った。</p>